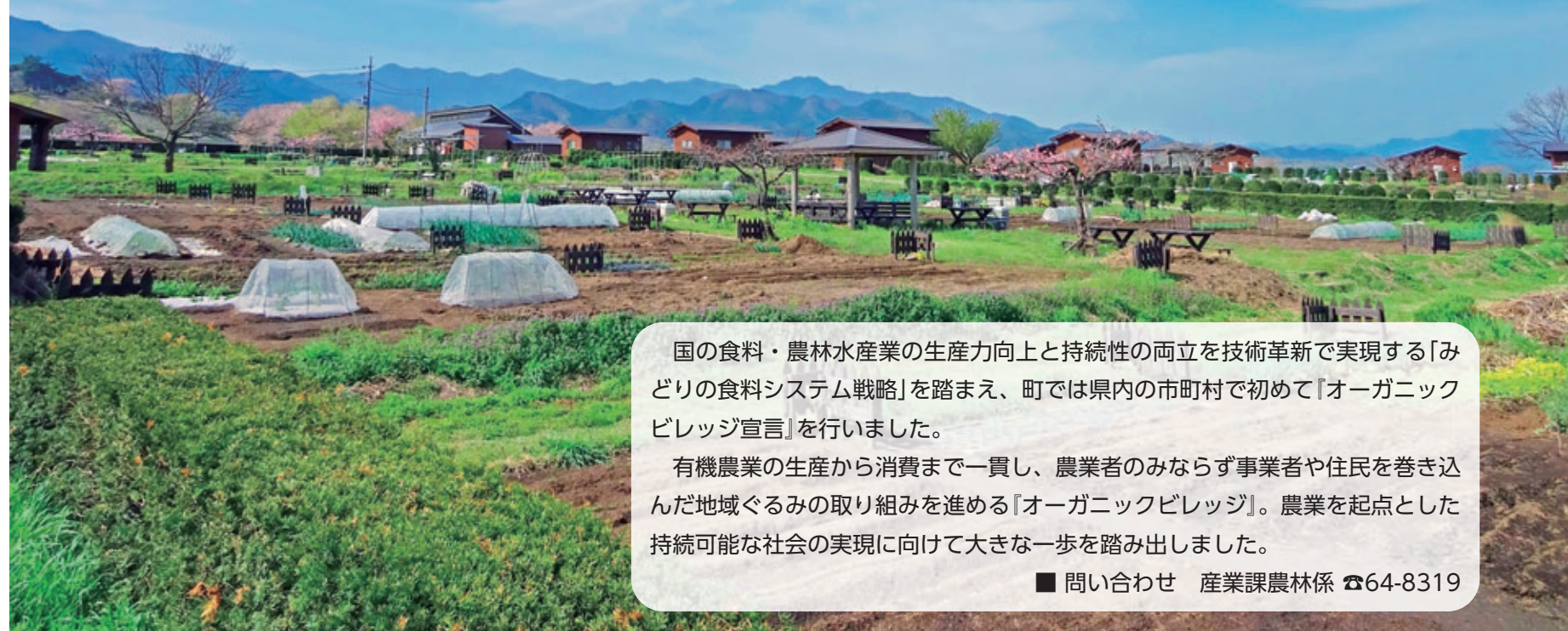


豊かな自然と食と農を 次世代に オーガニックビレッジ宣言



国の食料・農林水産業の生産力向上と持続性の両立を技術革新で実現する「みどりの食料システム戦略」を踏まえ、町では県内の市町村で初めて「オーガニックビレッジ宣言」を行いました。

有機農業の生産から消費まで一貫し、農業者のみならず事業者や住民を巻き込んだ地域ぐるみの取り組みを進める「オーガニックビレッジ」。農業を起点とした持続可能な社会の実現に向けて大きな一歩を踏み出しました。

■ 問い合わせ 産業課農林係 ☎64-8319

宣言書



甘楽町は、自然に囲まれた歴史と文化が息づく風光明媚な町で、温暖な気候風土を生かして、長年にわたり多彩な農業が営まれてきました。

1980年代から始まった有機農業の取組は、甘楽町有機農業研究会や甘楽ふるさと農園が中心となり、安全・安心で環境に配慮した農業を実践し、今日までの町の農業振興に大きな役割を果たしてきました。

「みどりの食料システム戦略」を踏まえ、有機農業の生産から消費までを地域ぐるみで取り組み、町の「農」と「食」を未来へつないでいきます。

「身土不二」の精神を大切に、学校給食での有機農産物の活用など、未来を担う子どもたちへの食育をはじめ、日々の暮らしに溶け込む有機農業を推進し、次代へ継承していくことを決意し、ここに「オーガニックビレッジ宣言」をいたします。

令和5年10月20日

甘楽町長 茂原 荘一



2 消費者理解の醸成

- 7 消費拡大に向けた啓発と情報発信
- 6 ふるさと納税・イベントなどでの活用
- 5 学校給食などでの活用

1 販売先の充実

- 4 加工品への活用
- 3 オーナー便の利用促進
- 2 飲食店・直売所などでの活用
- 1 新規販路開拓



◆有機農業で生産された農産物の流通、加工、消費などの取組

3 新たな挑戦

- 7 新たな品目の実証
- 6 給食利用拡大に向けた実証ほ場の設置

2 生産基盤の整備・継承

- 5 有機資源の土づくりの推進
- 4 農地の管理体制の構築



1 担い手の確保・育成

- 3 有機農業サポーターの導入
- 2 農作業の省力化（機械・設備の導入）の実証
- 1 新規就農者の確保と育成

未来へつなぐ有機農業

〈5年後に向けた取組〉

◆有機農業の生産段階の推進の取組

町では「甘楽町有機農業研究会」が昭和61年に発足し、組織的に有機農業の推進に取り組んできました。その礎を利用し、環境問題への対応や世界共通の目標であるSDGsに則した持続可能な食料システムの実現に向け、オーガニック推進検討委員会を開催して有機農業実施計画書を策定し、10月20日に「オーガニックビレッジ宣言」を行いました。宣言では「未来へつなぐ有機農業」を目指して、子どもたちへの食育をはじめ、日々の暮らしに溶け込む有機農業を推進し、次代への継承と有機農業のさらなる産地づくりに向け取り組むことを表明しました。



宣言書を掲げる茂原町長